

120mmザク・マシンガン改



各部ディテール



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 本体等：
 - イエローグリーン (55%)
 - +カーキ (30%)
 - +濃緑色 (1) (15%)
 - ※または、ガンダムカラーグリーン6
- パワーサプライヤー：
 - サンティイエロー (70%)
 - +ココアブラウン (20%)
 - +イエロー (10%)
- 関節、マシンガン等：
 - ブルーグレー (80%)
 - +レッド (10%)
 - +ホワイト (10%)
 - ※または、ガンダムカラーグレー11
- 胴体、シールド等：
 - 濃緑色 (1) (80%)
 - +ブラック (20%)
 - ※または、ガンダムカラーグリーン7
- 胸部インテーク等：
 - イエロー (95%)
 - +オレンジイエロー (5%)
 - ※または、ガンダムカラーイエロー1
- 脚部スラスターカバー等：
 - レッド (50%)
 - +シャインレッド (50%)
 - ※または、ガンダムカラーレッド1

アクションポーズ



リアビュー



RMS-106 'HI-ZACK'

TITANS MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RMS-106
 TOTAL HEIGHT : 20.5m
 WEIGHT : 38.7t
 TOTAL WEIGHT : 59.6t
 GENERATOR OUTPUT : 1428kw
 THRUSTER GENERAL OUTPUT : 64800kg
 SENSOR EFFECTIVE RADIUS : 8900m
 MATERIAL : TITANIUM ALLOY CERAMIC COMPOSITE
 ARMAMENTS : 120mm ZAKU MACHINEGUN CUSTOM
 OPTION SHIELD



1/144 SCALE

HG

UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。



RMS-106 "HI-ZACK"

「ハイザック」は、一年戦争終結後に新規の量産型として開発された連邦軍製MSの第1号機である。基本コンセプトは公国軍の名機「ザク」とほぼ同じで、接収した公国軍の開発ノウハウをベースに作られており、その生産性の高さから連邦軍全体に配備されている。実際には、新機種というよりザクの改良型と言える機体で、新素材装甲と新型ジェネレーターの開発により大幅な軽量化がなされている。またその結果、プロペラントの積載量が増加し、バーニアスラスタなどの技術進歩もあって、無重量空間での機動性が飛躍的に向上している。リニアシートや360度モニターなどを量産機として初めて装備したMSでもあり、汎用型としてあらゆる戦闘に対応可能。扱いやすくメンテナンスも容易である。



バックパック
ハイザックの機体バランスは、汎用機であるにも関わらず、06F系よりもむしろ06R系に近く、また、哨戒任務も想定されていたため、放熱板とサブセンサーが一体化されたフィンユニットが装備されている。

SPEC
型式番号：RMS-106
全高：20.5m (サブセンサー／ラジエーションユニット部)
本体重量：38.7t
全備重量：59.6t
ジェネレータ出力：1428kw
スラスタ総推力：64800kg
センサー有効半径：8900m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
武装：120mmザク・マシンガン改
オプションシールド、他

▼120mmザク・マシンガン改 基本構造は公国製のザク・マシンガンとほぼ同等で、光学系のセンサーを連邦系の規格に適合させただけの武器。ただし、精度は公国製のものより向上している。



▶オプションシールド 連邦系のMSはシールドを左腕に装備することが多く、ジム系の機体から乗り換えるパイロットの利便性を考慮して装備された。特に、所属を示す記章表示にも有効で、ザク系の機体に不慣れなパイロットにも好評だった。



フィンユニット

シールド

頭部ユニット

ハイザックの頭部構成は、基本的にザクII、いわゆるMS-06系の機体とほぼ同等だが、通信デバイス性能は全て共通で、機能強化のためアンテナを増設する必要はほとんどない。

マニピュレーター

ビーム・サーベルなどの運用も想定されていたため、マニピュレーターはエネルギーコネクターが内蔵された連邦軍仕様のもが装備されている。

コクピットハッチ



ショルダーアーマー

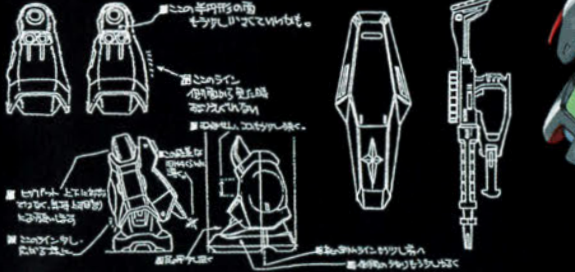
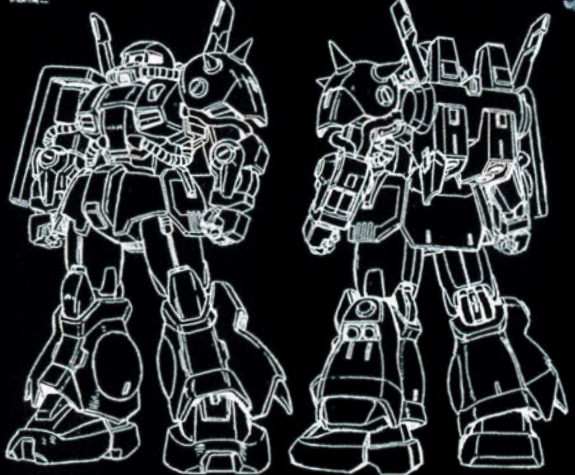
レッグスラスタ

り、戦後の標準機とも言えるMSである。ハイザックの開発は、連邦軍による公国系技術の検証という側面も持っていた。特に、基本構造の異なる各種アクチュエーターや動力装置、電装系、制御系などを比較、検討し、双方の長所を盛り込むという作業は、単純に折半すれば済むというものではなかったのである。また、ビーム・サーベルなどを稼働させるため、腕部に外付けて動力パイプが増設されている反面、脚部のパイプは内装されるなど、構造的に異なる設計コンセプトが併存しているのも、双方のノウハウの磨き上げの過程で生まれたものである。



RMS-106 HI-ZACK (ハイザック) デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)

RMS-106 Hi-Zack (R-106) (Ver.2.1) Frank



「ハイザック」のリニューアルデザインにおいては、フレキシブルな各関節の大胆な可動に加え、一年戦争の名機である「ザク」のイメージをふまえて、次世代の標準機としてのフォルムやディテールの再現が重点的なポイントと言える。

ハイザック
ハイザックは、TVシリーズ「機動戦士Ζガンダム」に登場した量産型MSである。連邦軍が標準的な量産機として開発し、U.C.0085年以降、暫時各拠点に配備していった。連邦軍が配備する通常の機体のほとんどにはブルー系の塗装が施されているが、ティターンズに配備される機体はオリジナルのザク同様、グリーン系のカラーリングが施されている。その理由は、この機体が演習の際、敵軍の機体として使われることが多かったためだとも言われているが、定かたではない。(撮影協力：ホビージャパン)



Illustration work
Drawn by MASANORI SHINO
CG Work by TAKAYUKI FURUKAWA

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》● 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。● 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。● 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

注意 (ちゅうい)

- 緑部が鋭い箇所がありますので、注意してください。● 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。● 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。● 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



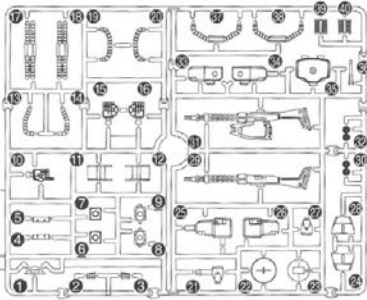
・数値に合わせて回転させます



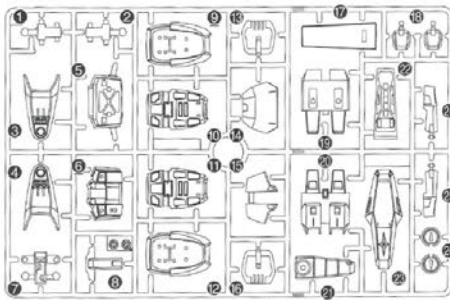
・どちらかを選んで取り付ける

パーツリスト

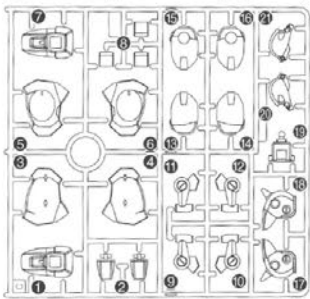
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



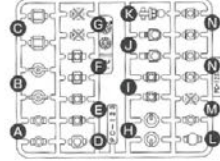
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈P.C-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



●シール……………1

1 A18, C13, P.CB, C15, A9, P.C, J

2 B3, A28

3 P.CF, C5, C3, C2, B2

4 C7, P.CC, B11, B12

5 A17, C16, P.CB, C14, A8, P.C, J

6 B4, A24

7 P.CF, C2, C4, B1, C6

8 C1, P.CC, B10, B9

9 P.CK, B5, B6, A3, A2, A35, A4(!), A5(↔), A13, A14

